

平成25年8月27日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

- | | |
|---|----|
| 1. ガス機器・石油機器に関する事故
(うち石油ふろがま 1件) | 1件 |
| 2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故
(うち扇風機3件、エアコン(室外機) 1件) | 4件 |
| 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故
(うちエアコン1件、折りたたみテーブル1件、椅子1件) | 3件 |
| 4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議(※)
において、審議を予定している案件
該当案件無し | |

1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 株式会社長府製作所が製造した石油ふろがまについて（管理番号A201300360）

① 事故事象について

株式会社長府製作所が製造した石油ふろがまを使用中、電気が消え異臭がしたため確認すると、当該製品から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生していました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

② 当該製品のリコール（無償点検・改修）について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、機器の修理、点検及び空焚き防止装置の作動状況を判定するため、一時的に使用する点検用コネクタ（空焚き防止装置を働かせないようにするもの）を修理・点検後に戻し忘れたため、空焚きとなった際に空焚き防止装置が作動せず、火災に至る事故が発生したことから、事故の再発防止を図るため、2007年（平成19年）7月27日にプレスリリース及びホームページに情報を掲載（2013年3月改訂）し、点検用コネクタが付属されている全ての機種について、無償点検により点検用コネクタの回収を実施しています。

また、他の対象機種と電気回路や熱交換器の構造等が一部異なる2機種（CK-11及びCK-11S）については、空焚き防止回路が不安定となることによって空焚き防止装置の作動頻度が多くなり、修理・点検の回数も増え、点検用コネクタの戻し忘れの可能性が高くなることから、安定的な作動を確保するため基板を交換する改修を実施しています。

このようなことから、同社は、2007年7月28日に新聞社告の掲載、2009年10月から2010年3月までTVCM放映を行うとともに、これまで継続的に、販売店、サービス店を通じ、同社製品の修理・点検時に対象機種があった場合には、点検用コネクタの戻し忘れがないかの確認と回収等の徹底、また、ポスター掲示、店頭チラシ配布、新聞折込みチラシ等による無償点検・改修の呼び掛けを行っています。

なお、本年は、4月から再度TVCM放映を行い、引き続き注意喚起及び無償点検・改修を呼び掛けています。

③ 対象製品等：品目、機種名、製造期間、改修対象台数

品目	機種名	製造期間	改修対象台数
石油ふろがま	JK、JK2、JK-N ※ (ハナ-ナ型式：BM-71K、BM-71KT) (セット型式：JPK、JPS-T、JPK-N)	1984年7月 ～ 1991年9月	243,420台
	JPS-T3、JPK-N3 (ハナ-ナ型式：BM-73K) (ハナ-ナ製造番号 000001～238930、 500002～588761が対象)	1991年8月 ～ 2001年9月	257,603台
	CK-8、CK-8E	1985年1月～ 1992年5月	23,815台
	CK-9、CK-9E	1985年11月～ 1987年7月	3,840台
	CK-10、CK-10S (製造番号 000001～040080が対象)	1986年12月～ 2001年9月	54,181台
	CK-11、CK-11S	1987年4月～ 1999年10月	111,085台
	小 計		
	JIB-T	1984年11月～ 1988年1月	3,150台

追焚付石油給湯器	JIB-2T	1984年10月～ 1988年7月	9,093台
	JIB-4	1983年4月～ 1984年8月	4,323台
	JIB-5、JIB-5E、JIB-5S、JIB-5SE	1983年11月～ 1986年7月	12,990台
	JIB-6N、JIB-6NE、JIB-6NEG、 JIB-6NS、JIB-6NSG、JIB-6EA、 JIB-6EAG、JIB-6SA、JIB-6SAG	1986年3月 ～ 1988年4月	30,333台
	JIB-7EG、JIB-7S、JIB-7SAG、 JIB-7SG	1987年12月～ 1991年12月	39,134台
	小計		
合計			792,967台

※ 印の型式については、機器本体に表示がされており、別途、バーナー部には、バーナー型式名、取扱説明書には、セット型式が表示されています。

2007年7月27日からリコールを実施
改修率 33.4% (2013年7月31日現在)

対象製品の確認方法

《型式表示場所》 ※ 図は一例ですが、本体正面または側面に型式名の表示があります。



④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検・改修を受けていない方は、浴槽に水があることを確認して使用していただくとともに、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

(株式会社長府製作所の問合せ先)

電話番号：0120-911-870

受付時間：9時～18時（土・日・祝日を除く。）

ホームページ：<http://www.chofu.co.jp/support/important/20070727.html>

(2) 三洋電機株式会社が製造した扇風機について（管理番号A201300357）

① 事故事象について

病院で三洋電機株式会社が製造した扇風機及び周辺を焼損する火災が発生しました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

② 当該製品の対応について

同社は、当該製品を含む1977年以前に製造された同社製扇風機について、電気部品の経年劣化によって出火し、火災に至るおそれがあることから、2007年（平成19年）8月25日以降、毎年、新聞広告を掲載し、また、2007年9月からはテレビ広告を実施するなどして、使用の中止及び製品廃棄のお願いを呼び掛けています。

なお、本年は、6月11日から13日にかけて全国36新聞（36百万部）に注意喚起広告の掲載を行うとともに、チラシ・ポスターを同社のサービス拠点（109箇所）に配布・掲示し、引き続き注意喚起を行っています。

また、一般財団法人家電製品協会、一般社団法人日本電機工業会、一般社団法人電子情報技術産業協会、一般社団法人日本冷凍空調工業会では、経済産業省と協力して、長期間使用している家電製品に関する注意喚起のためのチラシを各自治体を通じて全国の各世帯に配布する取組を実施しています。

③ 対象製品：ブランド名、品番、販売期間

ブランド名	品番	販売期間
SANYO	EF-XXX（3～5桁の数字とアルファベットの組み合わせ）	1956年～1977年
新日本電気	NF-XXX（3～6桁の数字とアルファベットの組み合わせ）	1961年～1977年
ゼネラル	EF-XXX（3～5桁の数字とアルファベットの組み合わせ） F-XXX（3～5桁の数字とアルファベットの組み合わせ）	1959年～1977年
全日電商事株式会社	JF-30A	1968年
(株)全日電チェーン	JF-31A	1969年
シンガー	630、635、630D	1964年

※ SANYOブランド（三洋電機株式会社製）以外は、三洋電機株式会社が製造し各社ブランドで販売されたもの。

- ・ SANYO、新日本電気、ゼネラルの3ブランドは、次のURLより、1977年以前の販売機種か否かがチェックできます。

http://panasonic.co.jp/sanyo/info/products_safety/search.html

- ・ 新日本電気ブランドの対象製品の品番一覧

<http://www.nec.co.jp/news/info/20070824.html>

- ・ ゼネラルブランドの対象製品の品番一覧

http://www.fujitsu-general.com/jp/i_info/fan/

対象製品の外観（写真はEF-6EZ）



④消費者への注意喚起

当該製品を含む1977年以前に製造された製品をお持ちの方は、直ちに使用を中止してください。

また、1978年以降に製造された製品についても、以下の症状が発生する場合は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

- ・スイッチを入れてもファンが回らない。
- ・ファンが回っても異常に回転が遅かったり不規則。
- ・回転する時に異常な音がする。
- ・モーター部分が異常に熱かったり、こげくさいにおいがする。

（三洋電機株式会社の問合せ先）

扇風機相談室

電話番号：0120-34-0979

（携帯電話・PHS可、一部IP電話不可）

受付時間：9時～17時（土・日・祝日・事業所指定の休日を除く。）

ホームページ：http://panasonic.co.jp/sanyo/info/products_safety/080430.html

(本発表資料の問合せ先) 消費者庁消費者安全課
(製品事故情報担当) 担 当 : 大木、長井、川船^{かわふね}
電 話 : 03-3507-9204 (直通)
F A X : 03-3507-9290

(株式会社長府製作所が製造した石油ふろがまについての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室
担当 : 水野、長沼、山田 電 話 : 03-3501-1707 (直通)
F A X : 03-3501-2805

(三洋電機株式会社が製造した扇風機についての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室
担当 : 水野、角田、中谷 電 話 : 03-3501-1707 (直通)
F A X : 03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201300360	平成25年8月11日	平成25年8月22日	石油ふろがま	CK-9	株式会社長府製作所	火災	当該製品を使用中、電気が消え異臭がしたため確認すると、当該製品から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生していた。現在、原因を調査中。	佐賀県	製造から25年以上経過した製品 平成19年7月27日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 33.4%

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201300357	平成25年8月11日	平成25年8月22日	扇風機	EF-6EZ	三洋電機株式会社	火災	病院で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	佐賀県	製造から40年以上経過した製品 平成19年8月25日から使用中止の呼び掛けを実施(特記事項を参照)
A201300358	平成25年8月7日	平成25年8月22日	扇風機	F-C302M	松下精工株式会社 (現 パナソニック エコシステムズ株式会社)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	愛媛県	製造から15年以上経過した製品
A201300361	平成25年7月28日	平成25年8月22日	扇風機	KF-31B	ユアサプライムス株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損した。現在、原因を調査中。	東京都	製造から10年以上経過した製品
A201300362	平成25年8月12日	平成25年8月22日	エアコン(室外機)	R28DSS	ダイキン工業株式会社	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	愛知県	

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201300359	平成25年8月12日	平成25年8月22日	エアコン	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	福岡県	8月22日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201300363	平成25年7月22日	平成25年8月22日	折りたたみテーブル	重傷1名	学習施設で折りたたまれた当該製品を移動させる作業を行っていたところ、当該製品が転倒し、足を負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	大阪府	事業者が事故を認識したのは、8月13日
A201300364	平成25年6月27日	平成25年8月22日	椅子	重傷1名	当該製品に着座中、椅子枠から座面が外れて転倒し、負傷した。当該製品の組立て状況を含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	事業者が事故を認識したのは、8月15日

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

扇風機（管理番号：A201300358）



エアコン（室外機）（管理番号：A201300362）

